

一打入魂

市内外の祭りやイベントに数多く出演し、場を盛り上げている『枕崎火の神太鼓保存会』。同会の小・中・高校生9名で構成されている『火の神乙女太鼓 爽』が昨年の県大会で準優勝、九州大会では5位入賞を果たし3月に行われる全国大会出場を決めました。9年ぶり2度目の全国大会出場となるその舞台裏には、さまざまなドラマがありました。

州大会では5位入賞を果たし3月に行われる全国大会出場を決めました。9年ぶり2度目の全国大会出場となるその舞台裏には、さまざまなドラマがありました。

いざ全国大会へ

『火の神乙女太鼓 爽』は現在、3月21日に埼玉県で行われる日本太鼓シンシアコンクール(全国大会)へ向けて猛練習を続けています。

2月14日に行われた全国大会壮行会では、会場となった市民会館に約500人の観客が詰めかけ、力強くいきいきとした演奏に大きな拍手が送られました。全国大会に出場する9名は、予想を上回るたくさんの観客に勇気をもらっていました。

今回のあたたかい声援を背に、積み重ねてきた練習での成果を全国大会の舞台で思う存分に発揮し、自信を持って演奏してくれることでしょう。

がんばれ 火の神乙女太鼓 爽 全国大会へ

火の神太鼓のはじまり

『枕崎火の神太鼓保存会』は、

平成4年7月10日に発足しました。市が「ふるさと創生資金」で太鼓を購入し、打ち手を募集したのが始まりです。この募集で、太鼓を通じた活動が地域おこしの一助となればという目的に賛同した約40名が集まりました。しかし、和太鼓に関し全くの素人の集まりで、打ち方も分からず手探り状態でのスタートとなりました。

そこで翌年、県内では最も歴史の長い和太鼓団体であった霧島九面太鼓で研修し、さらに、その指導者に枕崎を題材にした曲を作曲してもらい、市内外のイベントで演奏し枕崎をPRすることを始めました。これらの活動が次第に実を結び、平成8年には香港公演が実現しました。香港公演では市内の舞踊2団体と琴の団体が日本との和を表現。演奏後

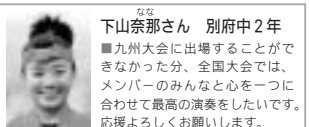
はスタンディングオベーションも起こるほどの大盛況となりました。このことが自信となり、後に大きく飛躍していくことになりました。

乙女太鼓の誕生と飛躍 栄光の裏側にあった苦悩

『枕崎火の神乙女太鼓』(平成20年に『火の神乙女太鼓 爽』と改名)は、平成12年に発足しました。当時、枕崎高校の生徒9名で結成された乙女太鼓は、結成後わずか3か月で県大会優勝。翌年の3月に全国大会出場という快挙を成し遂げました。

香港公演、乙女太鼓の全国大会出場と火の神太鼓は黄金期を迎え、目標も「もっと上を、全国どこでも通用する演奏を」と高くなっていきました。練習にも熱が入り、新しい表現への挑戦など勢いに乗っけてい

火の神乙女太鼓 爽 9名の打ち手

 <p>今門梨奈さん 枕崎高2年 ■もっとチームの輪を高めたいと思います。そして、全国に私たちの団結力を見せつけてきたいと思います。全国制覇へ向けてがんばります。</p>	 <p>茶屋道恵美さん 枕崎高2年 ■みんなで楽しく一番いい演奏ができるように、残された時間を全力で練習して、自信をつけて全国大会に臨み、優勝目指してがんばります。</p>	 <p>下迫千彰さん 枕崎高2年 ■今まで練習してきたことを全部出切って、全力で打ち込みたいと思います。そして、優勝するという強い気持ちを持って臨み、全国制覇したいです。</p>
 <p>下竹萌さん 枕崎高2年 ■もっともっと、技術的にも内面的にも自分もチームも磨いて、全国大会では自分たちしかできない最高で最強の演奏をするために必死になってがんばります。</p>	 <p>平田裕貴くん 立神中3年 ■指導してくれる方々、一緒にがんばってくれるチームメンバー、協力してくれる家族。そして応援してくれる全ての方への感謝の気持ちを忘れず最高の演奏をします。</p>	 <p>凧田聡一朗くん 立神中3年 ■家族や友達、まちのみんなの声援を感じながら練習(ワ)で全力で諦めず、楽しくやっていた成績が残せるようにがんばります。全国に薩摩魂をぶつけたいです。</p>
 <p>下山奈那さん 別府中2年 ■九州大会に出場することができなかった分、全国大会では、メンバーのみんなと心を一につけて最高の演奏をしたいです。応援よろしくお願いします。</p>	 <p>中敷領正紘くん 立神小5年 ■残された時間を無駄にしないように、気を抜かないように練習して、全国大会では、いい成績が残せるように、かつおをいっぱい食べて一生懸命がんばります。</p>	 <p>平田理子さん 立神小4年 ■全国大会では、気持ちを爆発させて、今まで練習してきたことが無駄にならないように、本番ではいい結果を残して枕崎に帰ってきます。</p>

したが、その影では少しずつづいづいが生じていました。レベルが上がるにつれ、やることもどんどん高度になり、次第に目指す方向にズレが生じてきたのも事実でした。また、基本が大切な和太鼓では、初心者中心の修行のような練習になるため、華やかな舞台とのギャップに思い描いていたものとの違いから辞めていく人もいました。

再びつかんだ 全国大会への切符

このような苦難もあったため、乙女太鼓は結成初年、全国大会に出場したものの、2回目の出場にどうしても手が届きませんでした。いろいろな講習会への参加や、今の流行は何なのかなど研究し挑戦するも結果は出ませんでした。常にも上位入賞していた県大会でも平成18年には11位という不本意な成績に終わりました。このときのことを乙女太鼓のメンバーは「もう何が正しくて何が間違っているのかもわからない」と語っています。

そんな中、県太鼓連合の竹ノ下会長の「自分が正しいと思うことを信じてやれば悔いはなし」という言葉で吹っ切れたといいます。地味ながら、基本を大切にっ

かり打ち込むのが持ち味だという口を見失いそうになっていたメンバーは、さらに基本練習を充実させました。見せかけのパフォーマンスではなく、和太鼓本来の響きを極め、演奏の質を高める。そして打ち手の内面から湧き出してくるエネルギーを太鼓を通して表現しようと思ったのです。その努力が、今回の全国大会出場という結果に結びつくことになりました。

枕崎子ども太鼓 海っ鼓の誕生

火の神太鼓には結成当時、「50年後、100年後も火の神太鼓を存続させよう」という目標がありました。次の世代を

育てないといつかは途切れてしまう。そういう思いから「枕崎子ども太鼓海っ鼓」が平成17年に発足しました。発足当時、5名だったメンバーも現在は23名にまで増えています。

海っ鼓には、多くの子どもたちに太鼓の楽しさ・魅力を伝えたい。そして大人になって社会で通用する人間になってほしいという思いも込められています。

感謝の気持ち

「今まで活動が続けられてきたのは家族、友人、学校や職場の仲間、そして後押ししてくれる市民の皆さまの支えがあったから」と、いつも感謝する心を大切にしている火の神太鼓のみなさん。このような気持ちで、魂を込め一打一打しっかりと打ち込み奏でる音が、聴く人たちに感動を与えています。

これからも太鼓の音が枕崎さらには全国に響き渡ることでしょう。



市民会館での練習風景
基本練習(打ち込み)が延々と続く。単調で地味に見えるが、これこそ和太鼓演奏にとって最も大切なこと



▲多くの方が訪れた全国大会壮行会 ▲今年同じく全国大会出場を決めているL.C.Lと迫力ある共演



▲息の合った演奏で観客を魅了する火の神乙女太鼓 爽

『枕崎火の神太鼓保存会』のあゆみ

- 平成4年7月 『枕崎火の神太鼓保存会』発足
- 5年3月 霧島九面太鼓へ研修
- 10月 県太鼓連合、全九州太鼓連合、日本太鼓連盟に加入
 - ※市内のまつり・イベントなどへの演奏依頼が増加
 - ・枕崎港まつり前夜祭
 - ・空港フェスタオープニング
 - ・新酒まつり
 - ・輸入かつお船入港歓迎式典 など
- 6年7月 霧島高原太鼓まつり出演(全国でも有数の太鼓まつり)
- 11月 県民文化祭枕崎市民の夕べでオープニング演奏
- 8年10月 香港公演(17名が参加)
 - ※市外からの演奏依頼が増加
 - ・豪華客船「飛鳥」入港歓迎式典
 - ・鹿児島市祇園まつり
 - ・鹿児島県半島フェスタ など
- 9年1月 火之神公園で初の元旦初打ち
- 12年7月 『枕崎火の神乙女太鼓』発足
- 10月 火の神乙女太鼓 県大会優勝
- 13年3月 火の神乙女太鼓 全国大会出場
- 17年4月 『枕崎子ども太鼓海っ鼓』発足
- 19年1月 山本寛斎プロデュース太陽の船出演
- 20年 『枕崎火の神乙女太鼓』から『火の神乙女太鼓 爽』に改名
- 11月 火の神乙女太鼓 爽 県大会3位、九州大会審査員特別賞
- 21年9月 市制60周年記念アトラクションでL.C.Lと共演
- 10月 火の神乙女太鼓 爽 県大会準優勝
- 22年1月 火の神乙女太鼓 爽 九州大会5位入賞
- 2月 火の神乙女太鼓 爽 全国大会壮行会を開催
- 3月 火の神乙女太鼓 爽 全国大会出場予定

